

## 分娩取扱い施設における社会的ハイリスク妊婦の把握に関するアンケート

このアンケートは、分娩取扱施設宛にお送りしています。貴施設の中で、代表者1名（社会的ハイリスク妊婦症例に主に対応するスタッフ、あるいは妊婦健診に直接関わるスタッフ(職種は問いません)）によるご回答をお願いいたします。お考えを問う質問については、ご回答いただく方のお考えをご記入ください。

回答は、Web上での入力、あるいは郵送のいずれかをお願いします。Web入力は下のURLよりお願いいたします。

<https://forms.gle/CraVq1mCg5RBWpqd7> QRコード→



### 1. 基本情報（以下の質問に対し、記入または選択（○をつける）をお願いします）

施設名称								
所在地	都道府県							
施設の種類1（選択してください）	総合周産期 母子医療センター	地域周産期 母子医療センター	周産期母子医療 センター以外の 総合病院	産婦人科 専門病院	診療所	有床助産所	無床助産所	その他 ( )
施設の種類2	公的施設				私立施設			
2021年（1月1日～12月31日）の分娩件数	件							
このアンケートにお答えいただいている方の職種	医師	助産師	看護師	准看護師	ソーシャル ワーカー	事務職	その他	( )
お答えいただいている方の現職種の経験年数	年							
貴施設では特定妊婦（要保護児童地域対策協議会（要対協）が決定した特定妊婦）を2021年の1年間に何件程度扱いましたか	把握していない	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21件以上	(約 件)
社会的ハイリスク妊婦（定義：さまざまな要因により、今後の子育てが困難であろうと思われる妊婦）症例を2021年に何件程度扱いましたか（特定妊婦を除く）	把握していない	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21件以上	(約 件)
貴施設に、社会的ハイリスク妊婦を抽出する目的で導入しているツールはありますか	ない	ある（質問紙）				ある（その他） (詳細： )		

2. 通常の妊婦健診で、以下の項目について、「評価しているか」「主に誰が」「いつ」「どのように」評価しているかをお答えください  
 (1行ずつ太枠ごとに○を付けお答えください)

\*「誰が、いつ、どのように」の項目については複数回答可 評価していない場合は空欄でお願いします

	項目について何らかの形で評価しているか					主に誰が (空欄・複数回答可)					いつ (空欄・複数回答可)						どのように (空欄・複数回答可)					
	全例	ほとんど	時々	まれに	全くない	医師	助産師	看護師	ソーシャルワーカー	事務職	初診時	妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期	入院中	産後				問診票「紙」への記入	問診票「タブレット」への入力	対面面接
																2週間頃	1か月頃	2〜4か月頃	5か月以降			
年齢																						
妊娠が嬉しかったかどうか																						
精神疾患の既往の有無																						
これまでの対人関係トラブルの有無 (未診断の発達障害、人格障害傾向の有無を含む)																						
経済的ゆとりの有無																						
生活場所の変化が多いか (安定した居住場所があるか)																						
本当に困った時の相談相手の有無																						
妊婦が、自分の親との関係性に満足しているか (被虐歴を含む)																						
パートナーとのケンカの頻度 (DVの可能性)																						
婚姻状況 (婚約、未婚、離婚、再婚、連れ子の有無)																						
学歴 (低学歴の有無)																						
妊婦健診未受診かどうか、受診回数																						
MIBS-J (赤ちゃんへの気持ち質問票)																						
EPDS (エジンバラ産後うつ病質問票)																						

3. 貴施設での社会的ハイリスク妊婦症例の取扱いについてお考えをお教えてください（1行ごとに○をお付けください）

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いけない	あまり そう思わない	全く そう思わない
社会的ハイリスク妊婦を把握することは重要だと思いますか					
社会的ハイリスク妊婦に関わりたいと思いますか					
社会的ハイリスク妊婦の管理において、人的資源や物的資源の投入に対し、健診費用や分娩費用などによる収入が見合うと思いますか					
あなたの施設は社会的ハイリスク妊婦の把握、行政との連携等を十分に行っていると思いますか					

4. 主に社会的ハイリスク妊婦を把握するために、以下の職種は適していると思いますか（1行ごとに○をお付けください）

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いけない	あまり そう思わない	全く そう思わない	該当職種が 不在
医師						
助産師						
看護師						
ソーシャルワーカー						
事務職						
その他適している職種はありますか （自由記載）						

5. 助産師・看護師による妊娠中の保健指導の回数について（例 1回1時間の面談を3回なら、3回 3時間と記入）

	回数	時間
<p>在助産師・看護師による面談等による保健指導は妊娠中合計して平均どのくらい行っていますか （一般的な妊婦さんについてお答えください）</p>	回	時間
<p>通常の助産師・看護師による保健指導に加えて、社会的ハイリスク妊婦の抽出や把握、管理のために妊娠中に必要な【追加の】面談回数や面談時間はどのくらいだと思えますか （全例に対して既に十分に行っている場合は0回0時間と回答してください）</p>	（追加で）回	（追加で）時間

6. 助産師・看護師による産後の保健指導・育児指導の回数について（例 2人に1人の割合で1回1時間の面談を1回施行するなら、0.5回 0.5時間と記入）

	回数	時間
<p>現在助産師・看護師による面談等による産後の保健指導・育児指導は、産後を合計して平均どのくらい行っていますか （一般的な産婦さんについてお答えください）</p>	回	時間
<p>通常の助産師・看護師による産後の保健指導・育児指導に加えて、社会的ハイリスク症例（さまざまな要因により、今後の子育てが困難であろうと思われる症例）の抽出や把握、管理のために産後に必要な【追加の】面談回数や面談時間はどのくらいだと思えますか （全例に対して既に十分に行っている場合は0回0時間と回答してください）</p>	（追加で）回	（追加で）時間

7. 社会的ハイリスク妊婦を貴施設で扱うために不足していることは何ですか（1行ごとに○をお付けください）

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いけない	あまり そう思わない	全く そう思わない
人的、物的資源投入に見合う収入					
スタッフの数や協力（医師）					
スタッフの数や協力（助産師）					
スタッフの数や協力（看護師）					
スタッフの数や協力（准看護師）					
スタッフの数や協力（ソーシャルワーカー）					
スタッフの数や協力（事務職）					
行政への情報提供にあたっての同意方法の詳しい指針					
行政への情報提供にあたっての簡潔な手順					
行政の仕組みについての知識					
行政スタッフとのつながり					
貴施設の機能					
→どのような機能の改善が必要ですか（自由記載）					
行政の機能					
→行政のどのような機能の改善が必要ですか（自由記載）					
その他（自由記載）					

8. 社会的ハイリスク妊婦について行政に連絡している方法は何ですか（1行ごとに○をお付けください）

	毎 回	ほとんど	時 々	まれに	全くない	連絡を していない
電 話						
ファックス（定形書式あり）						
ファックス（定形書式なし）						
メー ル（定形書式あり）						
メー ル（定形書式なし）						
郵 送（定形書式あり）						
郵 送（定形書式なし）						
その他（連絡方法をご記載ください）						

9. 社会的ハイリスク妊婦について行政に連絡するのに適していると思う方法は何ですか（1行ごとに○をお付けください）

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いけない	あまり そう思わない	全く そう思わない
電 話					
ファックス（定形書式あり）					
ファックス（定形書式なし）					
メー ル（定形書式あり）					
メー ル（定形書式なし）					
郵 送（定形書式あり）					
郵 送（定形書式なし）					
その他適する方法があればご記載ください （自由記載）					

10. 貴施設や周囲の施設に社会的ハイリスク妊婦の把握や連絡に役立つツールがあれば教えてください（自由記載）

11. 社会的ハイリスク妊婦について特に困ることがあれば教えてください（自由記載）

12. その他何かございましたら下にご記入ください（自由記載）

質問は以上です。どうもありがとうございました。